



# 【活動報告】 共生社会にむけて

アクセシブルデザイン推進協議会(ADC)

2024年10月4日

## いろいろな言葉

① ノーマライゼーション

② バリアフリー  
国連報告書

③ 人に優しい

⑤ ユニバーサルデザイン

⑨ 誰一人、取り残さない  
SDGs

④ 完全参加と平等  
1981年国際障害者年

⑥ インクルーシブ

⑧ 私たち抜きで私たちのこと決めないで  
障害者権利条約

### 共生社会

## 「共生社会」とは

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会。  
(国立特別支援教育総合研究所)

キーワード

社会モデル



医学モデル

3

## 土俵は、共生社会？

高さ



ハード面



情報・ルール



高さ



高さ



ソフト面

情報



情報



4

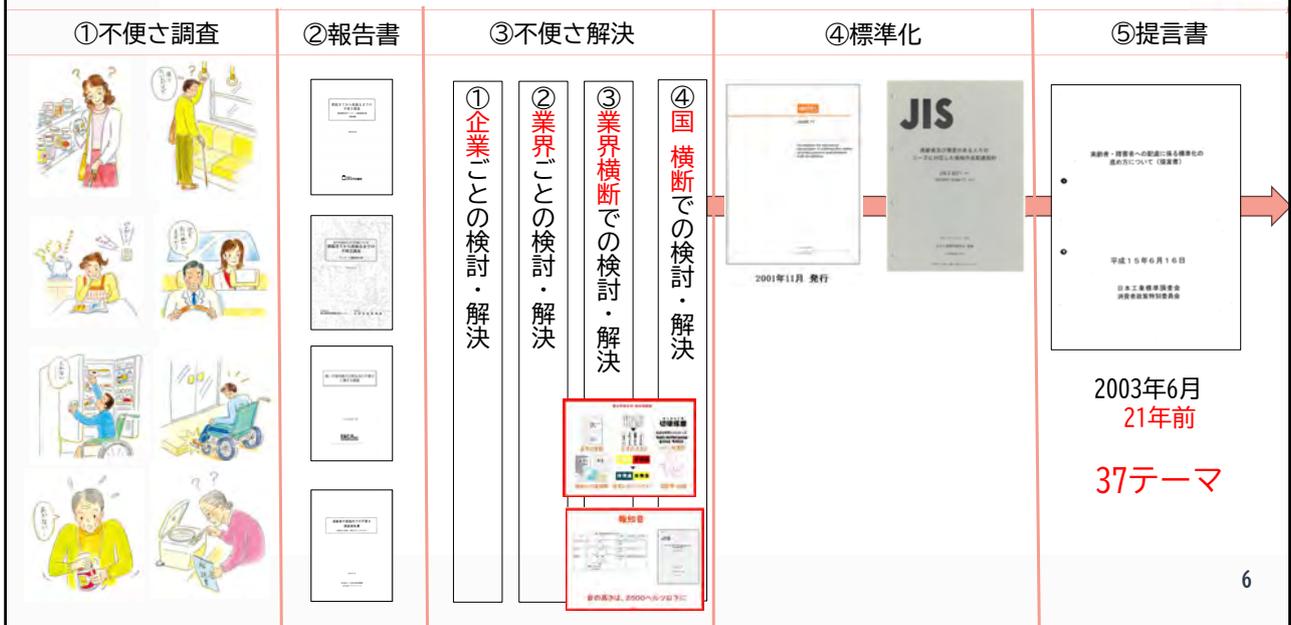
# 共生社会は

「環境整備」と「個別（合理的）配慮」

アクセシブルデザインは  
最初、個別（合理的）配慮  
そして、  
「環境整備」に

## アクセシブルデザイン推進協議会 発足経緯

ADC



図表6 標準化テーマの優先評価の基準

基準項目	考え方	評点
高齢者・障害者の身体生命関与	テーマが消費者の生命や身体（けが）に関与するものを優先するという考え方	関与が高い5から低い1まで
高齢者・障害者ニーズの強さ	消費者団体からの要望、不便さ調査結果等から判断して、ニーズの強さを評点化	強い5から弱い1までの5段階
標準化影響範囲の広がり	標準化されることによって、その影響で不便さの解消や他の標準化への影響等が大きいものを優先するという考え方	影響度が大きい5から小さい1までの5段階
国際標準化イニシアティブの必要性	「ISO/IECガイド71」を主導した我が国のイニシアティブで国際標準化により貢献することが重要との考え方	必要性が高い項目が5、低い項目が1の5段階
高齢者・障害者配慮製品開発の効率化への寄与	標準化されることによって、開発の効率化、市場の拡大への寄与が大きいものを優先するという考え方	寄与度が大きい5から小さい1までの5段階
標準化での合意の得やすさ	標準化を推進する上で、関係者の内容の合意が得やすいものを早めに標準化し、実効をあげることを優先するという考え方	合意が得やすい5から得にくい1までの5段階
合計		上記6項目を単純に加算

「高齢者・障害者への配慮にかかる標準化の進め方について（提言書）」平成15年6月16日より

① 最優先ですぐに着手すべき標準化テーマ 11 テーマ

標準化テーマ	概要	備考
コミュニケーション支援用絵記号規格	高齢者・障害者のコミュニケーションに用いる絵記号の規格化	日本規格協会での調査研究成果のJIS化
案内表示の規格	高齢者・視覚障害者・知的障害者等に配慮した公共的施設での案内表示の文字・絵・色彩・位置等を規格化	既存研究成果、ニーズ、問題点を確認しながらJIS化
触地図等の触覚表現規格化	視覚障害者に配慮した公共的施設等での案内地図の触覚図形等を規格化	既存研究成果、ニーズ、問題点を確認しながらJIS化
加齢化を考慮した報知音の規格	高齢者に配慮した消費生活製品における報知音の音圧レベル及び音の長さのJIS化	産業技術総合研究所での研究成果のJIS化
加齢化を考慮した輝度評価の規格	高齢者に配慮した視覚表示物の年代別輝度の求め方と光の評価方法のJIS化	産業技術総合研究所での研究成果のJIS化
加齢化を考慮した可読日本語文字の規格	高齢者に配慮した視覚表示物の日本語文字の最小可読サイズの推定法のJIS化	産業技術総合研究所での研究成果のJIS化
警報・避難器具の規格	高齢者・障害者に配慮した警報装置、非難器具を規格化	ニーズ、問題点を確認しながらJIS化
階段の設置法の規格	高齢者・弱視者等に配慮した公共的空間における階段の設置法（寸法、照明、色彩、手すり等）を規格化	ニーズ、問題点を確認しながらJIS化
情報通信機器・サービスのガイドライン規格	ISO/IECガイド71に基づく高齢者・障害者が利用しやすい情報通信機器・サービス分野のセクターガイドライン規格 情報通信機器、Web等の規格化	INSTACで実施しているものを強化・継続
情報通信機器の設計指針規格	高齢者・障害者に配慮した情報通信機器の設計指針の規格	JEITAで実施しているものを強化・継続
ウェブアクセシビリティの設計指針規格	高齢者・障害者に配慮した情報通信に用いるウェブアクセシブルな設計指針の規格	INSTACで実施しているものを強化・継続

「高齢者・障害者への配慮にかかる標準化の進め方について（提言書）」平成15年6月16日より

②準備でき次第に着手すべき標準化テーマ 7 テーマ



標準化テーマ	概要	備考
窓口での対応方法の規格	高齢者・聴覚障害者・知的障害者等に配慮した、売り場窓口、受付窓口、公共窓口等における対応方法や道具類を規格化	ニーズ、問題点を確認しながらJIS化
障害者ニーズを考慮した建物の設計指針	ISO9527（建物の構造-建物内における障害者ニーズ-設計指針）の規格化	ISO9527のJIS化
車両乗降補助装置規格	回転シート、ドアステップ、アシストグリップ等の規格化	業界規格先行でもよい
警告光の規格	高齢者・聴覚障害者等に配慮した報知音に代わる警告（報知を含む）光の規格	製品技術評価機構の研究成果を確認しつつJIS化を検討（要調査研究）
カード類の触覚識別の規格化	ICカード、健康保険カード等の出現により、分類と本人確認のための触覚識別規格	既存機関の研究成果をベースにJIS化を検討
ファクス表示の規格	聴覚障害者が連絡等を取りやすいように、電話番号と共にファクス番号等を記述する対象、方法等を規格化	ニーズ、問題点を確認しながらJIS化
車いす使用可能トイレの媒体表示の規格	車いす使用者が安心して外出できるよう、各種案内地図(ウェブを含む)での表示対象、表示方法を規格化	ニーズ、問題点を確認しながらJIS化

「高齢者・障害者への配慮にかかる標準化の進め方について（提言書）」平成15年6月16日より

③調査研究を要するなど検討すべき標準化テーマ 19 テーマ

標準化テーマ	概要	備考
有効視野と視認評価法の規格	高齢者の視野幅の減少に関する評価方法の規格	産業技術総合研究所で研究が進められている研究成果のJIS化
自動車と車いす固定方法の規格	車いす使用者が自動車（バスを含む）を利用する際の車いすの固定方法・器具等を規格化	自動車メーカー、車いすメーカー双方の意見を確認しながらJIS化
電車・駅の放送文字表示化規格	高齢者・聴覚障害者に配慮した電車内、駅での放送の文字表示の必要内容等を規格化	交通バリアフリー法に将来は付加
ガス器具点火安全装置規格化	ガスコンロ・風呂がまの点火・安全装置の規格	業界先行でもよい
石油ストーブ着火機構規格	着火しないとふたが閉まらないなど、着火安全機構の規格化	業界先行でもよい

「高齢者・障害者への配慮にかかる標準化の進め方について（提言書）」平成15年6月16日より

電動アシスト自転車アシスト比規格	高齢者利用を配慮した規格化（法律の再検討等も必要）	法規制の再検討も必要となる
電車のホーム間隔規格	高齢者・障害者の乗降の安全確保のための規格化	技術開発が必要となる可能性もある
オフィスシステムの規格	高齢者・障害者が働きやすいオフィス全体（建物、レイアウト、什器等）の規格化	既存の「ニューフェイス4M基準」をベースにJIS化
照度基準の規格	高齢者・弱視者等に配慮した公共空間における照度の規格化	既存標準化の内容をベースにJIS化検討（要調査研究）
操作部識別記号の規格	高齢者・視覚障害者・知的障害者等に配慮した各種機器類の識別記号（触覚を含む）の規格化	必要な識別記号の洗い出しなど要調査研究
配慮製品の評価認証基準	配慮製品であることの評価を確認できる手法の基準化	包装、文具での検討成果を受け、総合的に使用できるように検討（要調査研究）
携帯電話・PDA（携帯情報端末）	既存及び新規機能を、高齢者・障害者配慮する場合、必要機能の規格化	既存のニーズを把握しながら検討
電子投票	高齢者・障害者に配慮した電子投票機器、及びシステムの規格化	既存のニーズを把握しながら検討
展示・イベント	高齢者・障害者が参加できるようなイベントにするための配慮の標準化	既存のニーズを把握しながら検討
障害者用車両	障害者を含む9人乗りの車両の規格化	ISO/CD10515（9人乗り障害者車両）に基づくJIS化
包装容器触覚識別体系化	既存の包装容器の触覚識別体系化の標準化	既存のニーズを把握しながら検討
すべりに関する基準	高齢者・障害者が安全な床面等のすべりに関する規格化	既存のニーズを把握しながら検討
袋容器の開口表示	袋容器の開口表示の標準化	既存のニーズを把握しながら検討
住宅の規格	高齢者・障害者に配慮した住宅及び住宅設備の仕様を規格化	既存の「高齢者が居住する住宅の設計に係る指針」をベースにJIS化

### 48の規格の普及アクセシブルデザイン（高齢者・障害者配慮設計指針）の規格体系

2003年6月  
21年前  
37テーマ

↓

2024年10月  
48テーマ

**基本規格**

**共通規格 (配慮)**

**個別規格**

基本規格	1 JIS Z 8071:2017	「高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針」
	2 JIS S 0012:2018	「アクセシブルデザイン—消費生活用製品のアクセシビリティ—一般要求事項」
視覚的配慮	3 JIS S 0029:2018	「アクセシブルデザイン—消費生活用製品のアクセシビリティ—評価方法」
	4 JIS S 0031:2013	「高齢者・障害者配慮設計指針—視覚表示物—色々の高対比/高コントラストの求め方」
	5 JIS S 0032:2003	「高齢者・障害者配慮設計指針—視覚表示物—日本語文字の最小可読文字サイズ推定方法」
聴覚的配慮	6 JIS S 0033:2006	「高齢者・障害者配慮設計指針—視覚表示物—年齢を考慮した基本色領域に基づく色の組合せ方法」
	7 JIS S 0043:2018	「アクセシブルデザイン—視覚に障害のある人々が利用する取扱説明書の作成における配慮事項」
	8 JIS S 0013:2022	「アクセシブルデザイン—消費生活用製品の視覚的配慮」
	9 JIS S 0014:2013	「高齢者・障害者配慮設計指針—消費生活用製品の視覚的配慮—訪客普及及び聴覚の加齢変化を考慮した音圧レベル」
触覚的配慮	10 JIS S 0015:2018	「アクセシブルデザイン—消費生活用製品における音響内音」
	11 JIS S 0011:2013	「高齢者・障害者配慮設計指針—消費生活用製品における凸点及び凸バー」
	12 JIS S 0052:2024	「アクセシブルデザイン—触覚記号及び触覚文字の設計方法」
	13 JIS T 0921:2017	「アクセシブルデザイン—標識、設備及び機器への点字の適用方法」
	14 JIS T 0922:2007	「高齢者・障害者配慮設計指針—触覚内部の情報内容及び形状並びにその表示方法」
包装・容器	15 JIS T 9253:2004	「案内視覚化機能インキを基とする点字・点字及び点字の印刷方法」
	16 JIS X 6302-9:2018	「開閉カード—記録技術—第9部：触ってカードを区別するための凸記号」
	17 JIS X 6310:1996	「ブレイドカード—一般規格」
	18 JIS S 0021-1:2020	「包装—アクセシブルデザイン—第1部：一般要求事項」
	19 JIS S 0021-2:2018	「包装—アクセシブルデザイン—触覚的配慮」
	20 JIS S 0021-3:2020	「包装—アクセシブルデザイン—情報及び表示」
	21 JIS S 0021-4:2021	「包装—アクセシブルデザイン—第4部：取扱い及び操作性」
衣料品	22 JIS S 0021-5:2024	「包装—アクセシブルデザイン—第5部：集合包装用段ボール箱の重量に関する情報の表示」
	23 JIS S 0021-6:2024	「包装—アクセシブルデザイン—第6部：詰め替容器」
	24 JIS S 0022-3:2007	「高齢者・障害者配慮設計指針—包装・容器—触覚的配慮」
施設・設備	25 JIS S 0022-4:2007	「高齢者・障害者配慮設計指針—包装・容器—操作性配慮方法」
	26 JIS S 0025:2011	「高齢者・障害者配慮設計指針—包装・容器—危険の凸警告表示—要求事項」
	27 JIS S 0023:2002	「高齢者配慮設計指針—衣料品」
	28 JIS S 0023-2:2007	「高齢者配慮設計指針—衣料品—ボタンの形状及び使用法」
	29 JIS A 2191:2017	「高齢者・障害者配慮設計指針—住宅設計におけるドア及び窓の測定」
	30 JIS S 0024:2023	「アクセシブルデザイン—仕立設備機器」
	31 JIS S 0026:2007	「高齢者・障害者配慮設計指針—公共トイレにおける使用内操作部の形状、色、配置及び器具の配置」
	32 JIS S 0041:2010	「高齢者・障害者配慮設計指針—自動販売機の操作性」
	33 JIS T 0901:2011	「高齢者・障害者配慮設計指針—移動支援のための電子的情報提供機器の情報提供方法」
	34 JIS T 0902:2014	「高齢者・障害者配慮設計指針—公共空間に設置する移動支援用情報案内」
情報通信	35 JIS T 9251:2014	「高齢者・障害者配慮設計指針—視覚障害者等が専用アプリケーション等の実装の形状、寸法及びその配列」
	36 JIS T 9289:2019	「高齢者・障害者配慮設計指針—ステッキホルダーの操作性」
	37 JIS X 8341-1:2010	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第1部：共通指針」
	38 JIS X 8341-2:2014	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第2部：パーソナルコンピュータ」
	39 JIS X 8341-3:2016	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ」
	40 JIS X 8341-4:2018	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第4部：電気通信機器」
	41 JIS X 8341-5:2022	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第5部：事務機器」
	42 JIS X 8341-6:2013	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第6部：対話ソフトウェア」
コミュニケーション	43 JIS X 8341-7:2011	「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第7部：アクセシビリティ設定」
	44 JIS S 0042:2010	「高齢者・障害者配慮設計指針—アクセシブルミーティング」
アクセシブルサービス	45 JIS T 0105:2005	「コミュニケーション支援用振替等デザイン原則」
	46 JIS Y 0201-1:2024	「アクセシブルサービス—第1部：サービス提供者の基本的配慮事項」
	47 JIS Y 0201-2:2024	「アクセシブルサービス—第2部：コミュニケーションに関するサービス提供者の基本的配慮事項」
	48 JIS Y 0201-3:2024	「アクセシブルサービス—第3部：標準に関するサービス提供者の基本的配慮事項」

12



# アクセシブルデザイン推進協議会 幹事団体



## 一般財団法人 家電製品協会



設立：1973年(昭和48年)  
家電製品協議会(家製協の前身)発足

おかげさまで  
家電製品協会は  
来年で50周年!!

■事業：家電製品の安全性の向上、アフターサービスの充実、製造物責任に関する検討、さらには、環境問題と密接なかかわりをもつ使用済み家電製品の対策、省エネルギー・省資源対策など、家電製品に共通する諸問題を総合的に捉え、調査・研究や政策の立案をおこなう。

■賛助会員：26社/11団体(2024年4月時点)  
家電製品協会ホームページ <http://www.aeha.or.jp>



### ■組織



★ユニバーサルデザイン技術関連事業  
2024年度、家電製品のユニバーサルデザインに関する課題の研究及び関連規格の業界横断的な標準化等を目指す  
(1)ユニバーサルデザイン国際規格化や配慮事項に関するJIS規格改正等への対応  
(2)ICT機器(スマホ、スマートスピーカー)等と家電機器との連携時における操作性向上  
(3)「配慮設計適合製品」の情報提供

## 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 (エコモ財団)

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation "Eco-Mo Foundation"



設立: 1994 (平成6) 年 (設立30周年を迎えました)

目的: 高齢者及び障害者等のより一層円滑なモビリティを実現するための啓発広報、情報提供及び調査研究並びに施設の整備、保有、貸し付け及び施設整備等に対するその他の支援を行うとともに、地球的規模の課題である環境問題の解決、地域の国際交流等を推進するための事業及び支援を行うことにより、人及び地球にやさしい社会環境を実現して行くことを目的とします。

### バリアフリー推進部における2024年度事業

- |       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 助成    | 1. 海上交通バリアフリー施設整備推進 (日本財団助成事業)<br>2. 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業 (日本財団助成事業)<br>3. ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成 |
| 情報提供  | 4. 交通バリアフリー情報提供システムの運営等                                                                        |
| 教育・啓発 | 5. 交通サポートマネージャー研修の実施<br>6. 公共交通事業者等に向けた手話教室の実施<br>7. バリアフリー推進のための勉強会等の実施                       |
| 調査研究  | 8. 高齢者・障害者等の移動円滑化促進のための調査研究                                                                    |

17

## 公益財団法人 テクノエイド協会



### 福祉用具に関する事業

#### ○福祉用具の情報提供

・福祉用具ニーズ情報収集・提供システム

・福祉用具ヒヤリハット情報 ほか

#### ○福祉用具フランナーなど人材の育成

○福祉用具等に関する調査研究事業

・障害者自立支援機器ニーズ・シースマッチング強化事業

・福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 ほか

### 補聴器に関する事業

#### ○認定補聴器技能者の養成

○認定補聴器専門店の認定

### 義肢装具に関する事業

#### ○義肢装具士国家試験

○義肢装具等完成用部品データベースシステム

○補装具制作者情報システム



(当協会は、福祉用具の安全かつ効果的な利用を促進し、高齢者及び障害者の福祉の増進に寄与することを目的としています。)

18

## (一社)日本ガス石油機器工業会(JGKA)



一般社団法人  
日本ガス石油機器工業会

名称：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances(JGKA)

設立：1961(S36)年4月3日 所在地：千代田区神田多町2-11-17 パークユクス神田多町2F

会長：内藤弘康(リンナイ株式会社 代表取締役社長)

目的：ガス・石油機器産業の健全な発展を図り、もって国民生活文化の向上とわが国産業の発展に寄与する。

会員数：88社(ガス石油機器及び関連部品の製造及び販売会社並びに賛助会員)(2024年08月現在)

### 高齢者・障がい者対応設計への取組みについて

高齢者・障がい者対応設計委員会…2009年、ガス・石油燃焼機器の「高齢者・障がい者配慮設計ガイドライン」を制定し、業界として統一的なルールを決めることによって、配慮設計内容の違いによる使用者の戸惑いを防止し、配慮設計機器の一層の普及を図っていくことを目的に高齢者・障がい者対応設計委員会の活動を開始。2023年7月に独立した委員会よりもガス機器、石油機器それぞれの技術委員会で情報共有・審議をした方が、より合理的であるため、ガス機器技術委員会・石油機器技術委員会に引き継いだ。

準拠・参照規格等：家製協UD関連ガイドライン、アクセシブルデザイン関連JIS、ISO/TC159人間工学規格、関連団体からの情報

19

Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances

## 一般財団法人日本規格協会 (JSA)



あゆみ：昭和20年（1945年）創立

JSA：Japanese Standards Association

### ▶ 日本産業規格 JISの開発

JIS原案作成から国への提案、発行後の維持管理までJIS開発に関する事業をトータルに実施

### ▶ 国際規格 ISO規格、IEC規格の開発

国際規格へのニーズの拡大に応え、日本の影響力を更に強化するために、ISO、IECに関わる各種事業をトータルに実施

### ▶ 標準化の普及

- ・規格・書籍・物品の発行
- ・セミナー・説明会の主催
- ・品質管理検定（QC検定）の実施



20

# 公益社団法人日本包装技術協会



日本包装技術協会

## 【目的】

包装に関する知識と技術の普及推進に努め  
生産、流通及び消費分野における合理化を  
図り、経済の発展と社会生活を向上する。



【会員】 2024年3月

法人会員 984社 個人会員 136名

## 【沿革】

1963年 創立

1966年 東京パック開催

1981年 包装アカデミー開校

2011年 公益社団法人登記



企業が業界の枠を超えて  
包装技術のもとに集う団体

21

# 公益財団法人共用品推進機構



共用品推進機構



調査研究

- ・不便さ
- ・便利さ
- ・モニタリング
- ・市場規模

標準化

- ・国際
- ・国内
- ・サービス
- ・関連連携
- ・その他

普及・啓発

- ・データベース
- ・展示会
- ・講座
- ・施設
- ・国内外当事者機関
- ・当事者ニーズ普及

22

# 1. 調査

## 2. 標準化

## 3. 普及

23

### 「ICT機器連携による家電製品の使いやすさ」研究



ICT機器(スマホやAIスピーカー)と連携し家電を操作できる  
IoT家電製品が普及



「家電製品の使いやすさ」を実現できる可能性広がる  
ICT機器がもつアクセシブル機能を活用



バイブレーション



表示モード



読上げ



ズーム



その為には、**設計者が**ICT機器がもつアクセシブル機能や  
ユーザーに配慮すべき事を**しっかり理解**することが重要

障害のある方へ困り事をヒアリング調査し、  
「ICT機器連携配慮指針」を作成(2021年度)



■ 「ICT機器連携配慮指針」の普及、理解促進へ

配慮指針内容を設計者が体感できるサンプルアプリと説明動画を作成('23年完成)  
説明動画は右記ホームページにて公開中 <https://aeha.or.jp/ud/guideapp.php>

24

# 「ICT機器連携による家電製品の使いやすさ」研究



## ■ 振動による報知方法の標準化 (2022年年度～)

複数の手段で報知することが重要

振動のパターンを標準化して報知音のように伝えることはできないか？

⇒早稲田大学/人間科学学術院と共同研究開始 2023年6月～2025年3月



## バリアフリー推進部における2024年度事業

## 調査研究



交通工コロジー・モビリティ財団

### 8. 高齢者・障害者等の移動円滑化促進のための調査研究

高齢者・障害者等の公共交通機関利用時の課題等を把握し、改善策等を提案するための調査研究を実施する。

空港、鉄道駅等旅客施設におけるバリアフリー対応状況の評価、

バリアフリー整備ガイドラインに関する好事例等の周知、

サインの課題等に関する調査、

認知症等の目には見えにくい障害に対する移動の評価、

さらに大規模イベント等における移動と交通の接遇向上策の検討を行うこととする。

〇〇までお進みください	〇〇までお進みください	直進が出口になります	戻っていただけます
スロープをお進みます	車椅子を押して下さい	ゆっくりにして下さい	直進が出口になります
		<b>SOS</b>	
お進みます	チャージをお進みます	休む場所をお進みます	保護をお願いします
体が不自由です	バス乗り場をお進みます	お進みます	お進みます
視覚が低下しています	バス乗り場をお進みます	お進みます	お進みます
トイレの場所をお進みます	エレベーターをお進みます		

おでかけサポートカード



鉄道駅評価(都内)

○バリアフリー事例集

：<https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/guideline/bfagl/>

○認知症者、失語症者等おでかけサポートカード

：[https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/support\\_card.html](https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/support_card.html)

# 「ニーズ・シーズマッチング交流会2024」



ニーズ・シーズマッチング交流会とは？

**障害当事者の思いや要望をよりの確にとらえた支援機器の開発に繋げるため、支援機器の障害当事者(ニーズ側)と支援機器の開発者(シーズ側)が自由に意見交換を行う場です。**

【過去の交流会の様子】



**皆様の声を聞かせてください！！**

会場では、開発改良中の支援機器を展示しています。機器を体験しながら開発者と意見交換ができます。

また、基調講演や出展企業の講演なども予定しています。



27

# ニーズ・シーズマッチング交流会2024開催会場



障害者自立支援機器

## ニーズ・シーズマッチング 交流会 2024

作る人と使う人の交流会

入場自由・入場無料

会場では手話通訳、要約筆記(手書きノートテイク)、失語症意思疎通支援者が常駐しています。

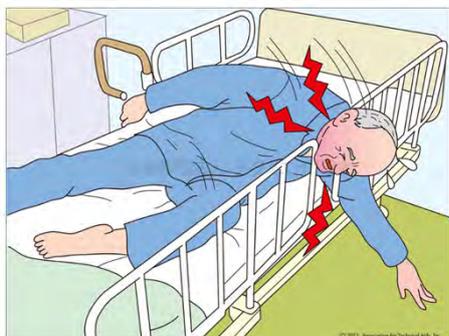
Web開催	令和6年10月1日(火)～令和7年1月31日(金) テクノエイド協会Web交流プラットフォーム内
大阪会場	令和6年11月25日(月)・26日(火)・27日(水) 開催時刻:初日13:00-17:00 / 10:00-17:00(最終日のみ16:00) OMM(2階展示Aホール)
東京会場	令和6年12月10日(火)・11日(水)・12日(木) 開催時刻:初日13:00-17:00 / 10:00-17:00(最終日のみ16:00) 東京都立産業貿易センター浜松町館(5階展示室)

- 大阪会場・東京会場では、試作機や開発改良中の支援機器の展示が行われます。
- 当事者やご家族、医療従事者、研究機関、学校関係者、行政等の皆さんが機器を体験しながら意見交換、情報交換ができます

28



# 福祉用具ヒヤリハット情報（416事例）



○ベッド上で姿勢を変えようと足を崩そうとした時バランスを崩し、首が挟まってしまった

○あぜ道を走行中にバランスを崩したり、ハンドルを取られて側溝に転落するような事故が報告されています。



当協会では、利用者による福祉用具の誤使用や不注意、利用者と用具や試用環境の不適合から生じた事故などについて、イラストを活用してわかりやすく解説した「福祉用具ヒヤリハット情報」（全事例）を作成しています。  
大きな事故やケガを未然に防止するとともに、適切な福祉用具の利用に役立てていただければ幸いです。

当協会のホームページ福祉用具ヒヤリハット情報（全事例）をご覧ください



## 公益社団法人日本包装技術協会



日本包装技術協会

### 【研究・調査】

- (1) ISO/TC122（包装）
- (2) JIS包装関連分野
- (3) 分野別研究会開催

国内審議団体、議長国、幹事国  
原案作成団体

医薬品、食品、輸送包装、デザイン

### 【調査・評価】

- (1) 日本パッケージングコンテスト
- (2) 木下賞
- (3) 包装技術研究大会
- (4) 暮らしの包装展



## 13の不便さ調査+2024年(規格に関する調査)



## 実施してきた11のよかったこと調査



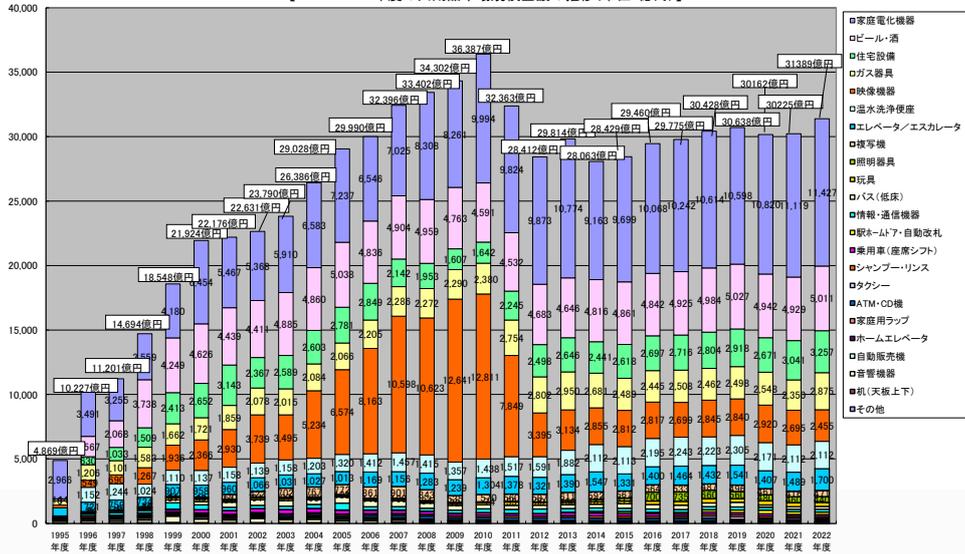
2024年度~地域医療等



共用品推進機構

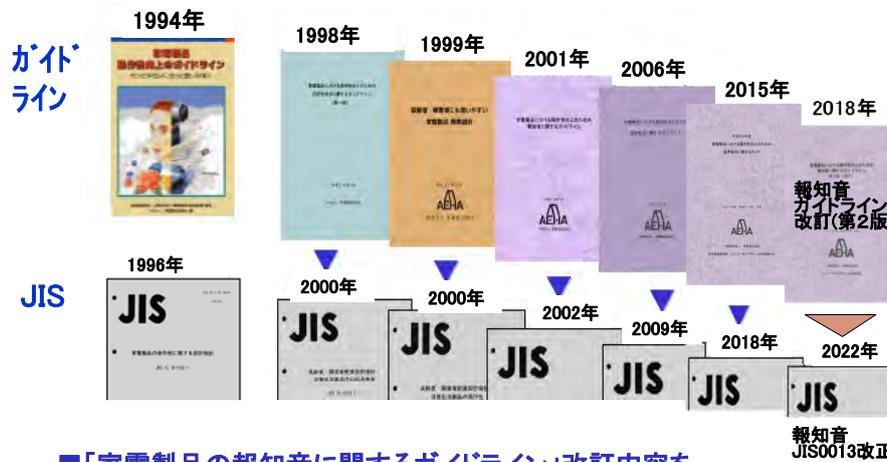
## 2023年度「共用品」市場規模調査

【1995～2022年度の共用品市場規模金額の推移(単位:億円)】



1. 調査
2. 標準化
3. 普及

## 家電製品協会ガイドラインのJIS化



■「家電製品の報知音に関するガイドライン」改訂内容を  
JIS S 0013に反映、見直し改正(2022年/2月)

アクセシビリティに関する家電製品の共通指針 (ガイドライン) を  
消費生活用製品の共通指針 (JIS化) と世界標準化 (ISO化) へ

## 高齢者・障がい者配慮設計について



一般社団法人  
日本ガス石油機器工業会

品目	視認性	操作性	音声ガイド	その他
温水機器 (リモコン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさ</li> <li>色とコントラスト</li> <li>イラストによる表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンサイズ</li> <li>操作部の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作音</li> <li>お知らせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見まもり機能</li> </ul>
調理機器 (コンロ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>色とコントラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイッチの配置</li> <li>操作部傾斜</li> <li>天面表示、天面操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お知らせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意ランプ</li> </ul>
暖房機器 (ファンヒーター ・FF暖房機)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさ</li> <li>色とコントラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイッチを拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お知らせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽量化</li> </ul>

## 配慮設計①（温水機器の例）

視認性 文字の大きさ、色とコントラスト



視認性 ボタンのサイズ・ボタンの配置



操作を音でもイメージ



音声によるお知らせ



見まもり機能



## 配慮設計②（調理機器の例）

見やすい表示 色とコントラスト



操作性 スイッチの配置



よりやさしく使えるよう、使うコンロのすぐ下にスイッチを配置

操作性 操作部傾斜 天面表示 天面操作



音声ガイド



# 配慮設計③（暖房機器の例）



## 使いやすい操作部



操作部は、立ったままでも座っていても、無理なく操作ができる位置に設定。  
操作ボタンは、運転入/切ボタンと温度設定 (+) (-) などで分かりやすく、誰にでも簡単に操作が可能。

## 使いやすい操作部



操作部を、楽な姿勢でボタンが押しやすく、立ったままでも座っていても、見やすい角度に設定。

## 視認性 文字の大きさ 色とコントラスト

減光セレクト：暗い場所でもまぶしさを感じる際、明るさを軽減。

大型白色バックライト液晶：大型で明るく読みやすく、遠くからでも確認しやすいバックライト。



## 音声ガイド



ボタンの操作に対して、文字表示と音声で応答するので、操作の結果を目と耳で確認できます。

# 48の規格の普及アクセシブルデザイン（高齢者・障害配慮設計指針）の規格体系者



規格	内容
基本規格	1 JIS Z 8071:2017 高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針
	2 JIS S 0012:2018 アクセシブルデザイン—消費生活用製品のアクセシビリティ—概要事項
	3 JIS S 0020:2018 アクセシブルデザイン—消費生活用製品のアクセシビリティ—評価方法
視覚的配慮	4 JIS S 0031:2013 高齢者・障害者配慮設計指針—視覚表示物—色と年々の視覚コントラストの求め方
	5 JIS S 0032:2003 高齢者・障害者配慮設計指針—視覚表示物—日本語文字の最小可読文字サイズ決定方法
	6 JIS S 0033:2006 高齢者・障害者配慮設計指針—視覚表示物—年齢を考慮した基本色領域に基づく色の組合せ方法
	7 JIS S 0043:2018 アクセシブルデザイン—視覚に障害のある人々が利用する取扱説明書の作成における配慮事項
聴覚的配慮	8 JIS S 0013:2022 アクセシブルデザイン—消費生活用製品の聴覚
	9 JIS S 0014:2013 高齢者・障害者配慮設計指針—消費生活用品の聴覚—妨害音及び聴覚の加齢変化を考慮した音圧レベル
	10 JIS S 0015:2018 アクセシブルデザイン—消費生活用製品の音声案内
	11 JIS S 0011:2013 高齢者・障害者配慮設計指針—消費生活用製品における点及び凸バー
触覚的配慮	12 JIS S 0052:2024 アクセシブルデザイン—触知記号及び触知文字の設計方法
	13 JIS T 0921:2017 アクセシブルデザイン—標識、設備及び機器への点字の適用方法
	14 JIS T 0922:2007 高齢者・障害者配慮設計指針—触知案内の規格内容及び形状並びにその表示方法
	15 JIS T 9253:2004 案内線路化規格—点字—品質及び試験方法
	16 JIS X 6302-9:2018 識別カード—記録技術—第9部：触ってカードを区別するための凸記号
	17 JIS X 6310:1996 アプリバードカード—一般適用
包装・容器	18 JIS S 0021-1:2020 包装—アクセシブルデザイン—第1部：一般要求事項
	19 JIS S 0021-2:2018 包装—アクセシブルデザイン—触知性
	20 JIS S 0021-3:2020 包装—アクセシブルデザイン—情報及び表示
	21 JIS S 0021-4:2021 包装—アクセシブルデザイン—第4部：取扱い及び操作性
	22 JIS S 0021-5:2024 包装—アクセシブルデザイン—第5部：集合包装用段ボール箱の重量に関する情報の表示
	23 JIS S 0021-6:2024 包装—アクセシブルデザイン—第6部：詰め替え容器
	24 JIS S 0023-3:2007 高齢者・障害者配慮設計指針—包装、容器—触覚識別表示
	25 JIS S 0022-4:2007 高齢者・障害者配慮設計指針—包装、容器—使用説明方法
衣料品	26 JIS S 0025:2011 高齢者・障害者配慮設計指針—包装、容器—危険の凸警告表示—要求事項
	27 JIS S 0023:2002 高齢者配慮設計指針—衣料品
施設・設備	28 JIS S 0023-2:2007 高齢者配慮設計指針—衣料品—ボタンの形状及び使用法
	29 JIS A 2191:2017 高齢者・障害者配慮設計指針—住宅設計におけるドア及び窓の選定
	30 JIS S 0024:2023 アクセシブルデザイン—住宅設備機器
	31 JIS S 0026:2007 高齢者・障害者配慮設計指針—公共トイレにおける便所内操作部の形状、色、配置及び器具の配置
	32 JIS S 0041:2010 高齢者・障害者配慮設計指針—自動販売機の操作性
	33 JIS T 0901:2011 高齢者・障害者配慮設計指針—移動支援のための電子的情報提供機器の情報提供方法
	34 JIS T 0902:2014 高齢者・障害者配慮設計指針—公共空間に設置する移動支援用案内
情報通信	35 JIS T 9251:2014 高齢者・障害者配慮設計指針—視覚障害者利用ソフトウェア等の突起の形状、寸法及びその配列
	36 JIS T 9289:2019 高齢者・障害者配慮設計指針—ステッキホルダーの保持部
	37 JIS X 8341-1:2010 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第1部：共通指針
	38 JIS X 8341-2:2014 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第2部：パーソナルコンピュータ
	39 JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ
	40 JIS X 8341-4:2018 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第4部：電気通信機器
	41 JIS X 8341-5:2022 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第5部：事務機器
	42 JIS X 8341-6:2013 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第6部：対話ソフトウェア
	43 JIS X 8341-7:2011 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第7部：アクセシビリティ設定
	44 S 0042:2010 高齢者・障害者配慮設計指針—アクセシブルマーケティング
コミュニケーション	45 JIS T 0103:2006 コミュニケーション—交差用指針デザイン原則
	46 JIS Y 0201-1:2024 アクセシブルサービス—第1部：サービス提供者の基本的配慮事項
	47 JIS Y 0201-2:2024 アクセシブルサービス—第2部：コミュニケーションに関するサービス提供者の基本的配慮事項
	48 JIS Y 0201-3:2024 アクセシブルサービス—第3部：獲得に関するサービス提供者の基本的配慮事項

# 公益社団法人日本包装技術協会

## アクセシブルデザインのISO・JIS



日本包装技術協会

### JIS Z 8071

#### 規格におけるアクセシビリティ配慮のための指針

多様な状況においてシステムを容易に使用できるユーザーを最大限まで増やすために、多様なユーザーに焦点を当てた設計

### ISO/IEC Guide 71

Guide for addressing accessibility in standards



### JIS S 0021-1 (2020年制定)

包装-アクセシブルデザイン-一般要求事項



### ISO 11156 (2011)

General requirements

### JIS S 0021-2 (2018年制定)

包装-アクセシブルデザイン-開封性



### ISO 17480 (2015)

Ease of opening

### JIS S 0021-3 (2020年制定)

包装-アクセシブルデザイン-情報及び表示



### ISO 19809 (2017)

Information and

### JIS S 0021-4 (2021年制定)

包装-アクセシブルデザイン-取り扱い及び操作性



### ISO 22015 (2019)

Handling and manipulation<sup>#1</sup>

# 公益社団法人日本包装技術協会

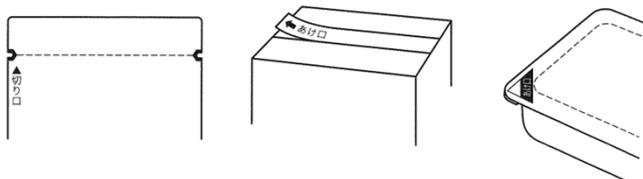
## アクセシブルデザインの事例 (JIS)



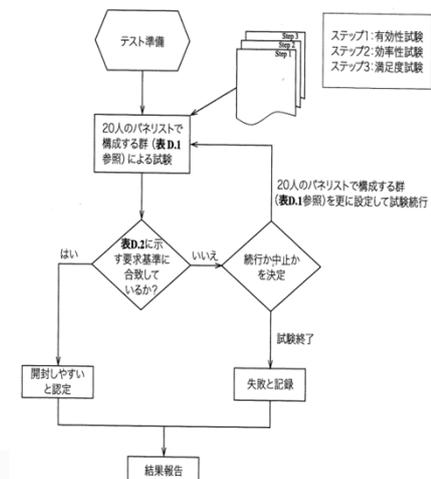
日本包装技術協会



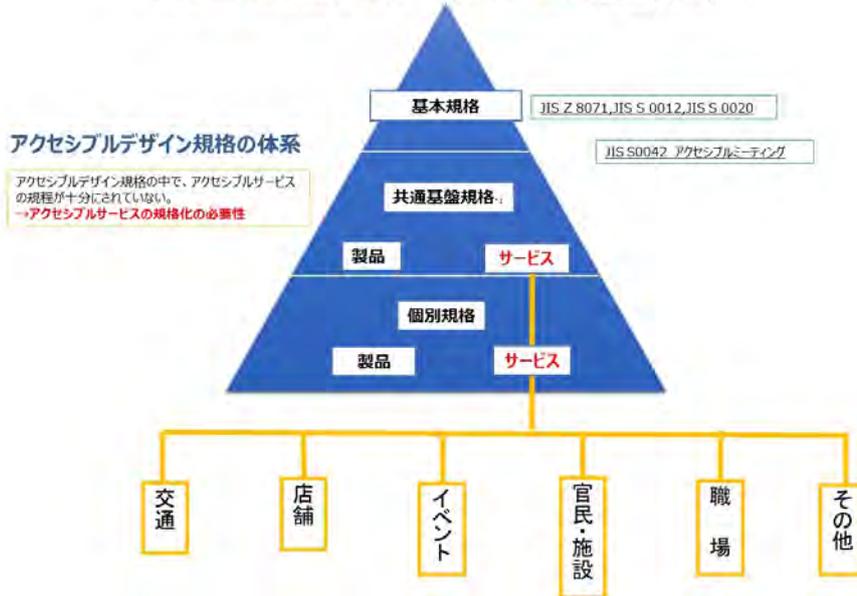
記号説明  
d: 握る動作に最適な径 60 mm



パネル試験のフローチャート



## 日本工業規格(JIS)から、日本産業規格(JIS)へ



43

## 産業系規格開発ユニット・消費者系規格チームの活動



### ・担当JIS分野

- ✓ 消費生活技術 (案内用図記号、衣料サイズ、**アクセシブルデザイン** 等)
- ✓ 高齢者・障害者支援 (福祉機器、衛生用品、人間工学関連、**アクセシブルサービス**等)
- ✓ 交通・物流技術 (物流機械、自動車、産業車両、船舶 等)

### ・主なトピックス

- ✓ **災害種別(洪水／内水氾濫) 図記号規格**
- ✓ K3362 (家庭用合成洗剤試験方法) 改正
- ✓ 消費者への**普及・啓発活動**

消費者セミナー：3消費者団体連携活動

- ・全国女性団体連絡協議会
- ・主婦連合会
- ・NACS：(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会



【アクセシブルサービス基本のJIS 三部作】

44

● JIS Z 8210:2024 案内用図記号 (追補1)

①洪水／内水氾濫注意 図記号の追加

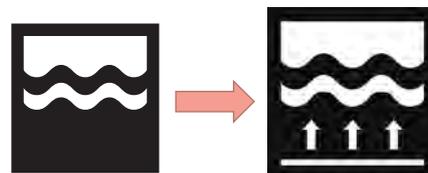
近年の大雨による災害が多く発生していることから、  
水害リスクを示し注意を促すための

「洪水／内水氾濫注意」の案内用図記号を追加



②洪水／内水氾濫災害種別一般 図記号の変更

「洪水／内水氾濫注意」の図記号デザイン検討時に、  
波線のみデザインよりも、波線に上向きの矢印を加えた  
デザインの方が理解度が高かったため、注意図記号にあわせ、  
災害種別一般図記号のデザインを修正



● JIS Z 8210:2024 案内用図記号 (追補1)

③光警報装置 (火災用) 記号の追加

聴覚障がい者や高齢者などを含む不特定多数の人々が利用する施  
設などで光の点滅で火災を警報する装置である

「光警報装置 (火災用)」を示す安全用図記号を追加

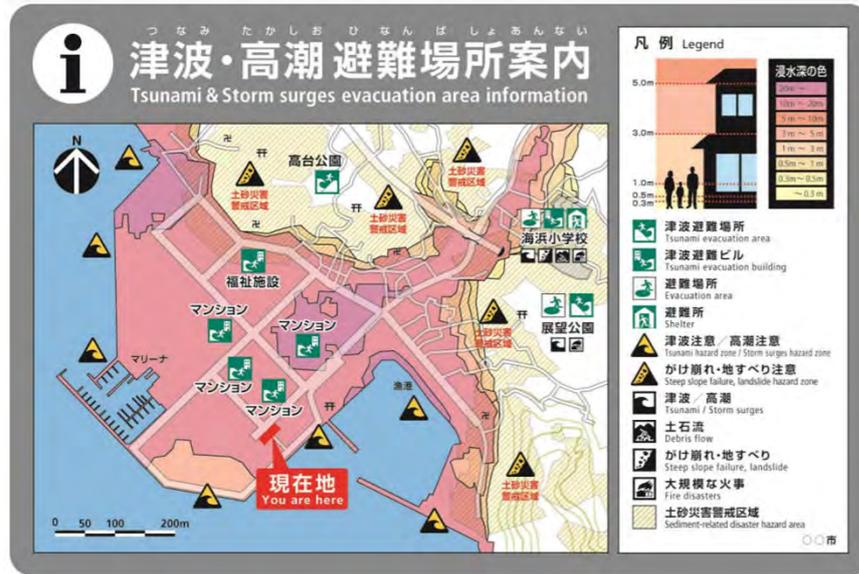


【装置自体を示す】

【装置を備えた施設・建物を示す】

【装置の設置場所を示す】

# 災害種別 図記号 (避難情報標識の例)



# 新しい生活様式におけるアクセシブルデザインの標準化



共用品推進機構

標準化方針「新しい生活様式でのアクセシビリティ」の促進推進の観点からの標準品、情報、サービスの一覧

項目	内容	標準品	情報	サービス
A-1	共通の標準品	...	...	...
A-2	共通の情報	...	...	...
A-3	共通のサービス	...	...	...

1. 調査  
2. 標準化  
3. 普及

ユニバーサルデザイン配慮家電の普及・広報



■ 家電製品協会のホームページ



家電製品協会50周年特設サイトより  
誰一人取り残さない社会への貢献  
～ユニバーサルデザインの先端開発～  
2024年7月30日(火)の講演を視聴できます



ユニバーサルデザイン配慮家電製品



関連ガイドラインが閲覧できます

- ・報知音ガイドライン
- ・ICT機器連携に関する一般要求事項
- ・音声案内ガイドライン
- ・報知光ガイドライン
- ・点字表示ガイドライン

- ・紹介、取り組み(動画)
- ・基礎知識
- ・歴史
- ・関連ガイドライン他

ユニバーサルデザイン家電製品配慮  
6項目の製品事例紹介

# UD配慮適合製品の製品事例紹介



ここからもご覧いただけます。  
製品カテゴリ別6品目を紹介  
<https://aeha.or.jp/ud/category/av.php>

UD配慮されたポイントを  
青字で表示



**購入前の製品情報を発信 (毎年更新中)**

# 共用品データベース



アクセシブルデザイン(共用品)検索 -ADDB- <https://www.kyoyohin.org/ja/database/>

アクセシブルデザイン(共用品)  
ADDB  
【検索画面・登録画面イメージ】

アクセシブルデザイン(共用品)の検索画面





1. 海上交通バリアフリー施設整備推進（日本財団助成事業）

旅客船事業者が行う旅客船及びターミナルの施設整備のうちバリアフリー設備に対し助成を行い、海上交通を利用する高齢者、障害者等の移動の円滑化に寄与することを目的とする。



2. 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業（日本財団助成事業）

共生社会実現に向けた移動円滑化を推進するため、港湾・空港施設におけるリムジンバスのバリアフリー化、小型航空機の搭乗時のバリアフリー化、避難所となる学校施設のバリアフリー整備、シンポジウムの開催等に対して基金を活用した支援を行う。



3. ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

交通バリアフリーに関わる先進的な調査研究、技術開発等を行う若手研究者等に対して助成を行い、わが国の交通バリアフリー推進に寄与する。



4. 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

駅・ターミナル構内のバリアフリー施設、乗り換え案内等に関するバリアフリー情報を提供し、高齢者、障害者等による鉄道やバスなどの公共交通機関の円滑な利用実現を目的とする。

<https://www.ecomo-rakuraku.jp/ja>

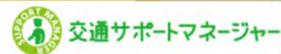


経路案内作成のための駅での調査の様子

5. 交通サポートマネージャー研修の実施

障害当事者が講師を務める交通事業者向けバリアフリー研修等の実施を通じて、交通事業者のバリアフリー接遇・介助水準の向上、バリアフリーへの理解促進を図る。

<https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/best/index.html>



### 6. 公共交通事業者等に向けた手話教室の実施

公共交通事業者等に就業者を対象とする手話教室を開催し、障害の理解と聴覚障害者の公共交通機関における移動円滑化を図ることを目的とする。



### 7. バリアフリー推進のための勉強会等の実施

「バリアフリー推進勉強会」の開催、  
小中学生向けの「バリアフリー学習プログラム」の普及、  
一般市民向けの「心のバリアフリー研修」の実施、  
障害者団体等とのネットワーク構築、  
バリアフリーに関する文献データベースの作成等、  
交通バリアフリーの推進を目的とした様々な情報交流、普及活動等を行う。



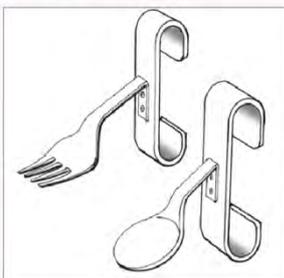
- バリアフリー推進勉強会  
: [https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/benkyo\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/benkyo_top.html)
- バリアフリー学習プログラム  
: <https://www.bfed.jp/program/index.html>

## 生活便利用具（自助具）データベース



(例示)

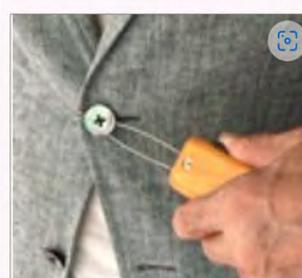
ホルダー付きスプーン・フォーク



片手用液体洗剤受け



ボタンエイド



当協会では自助具等の関連機関や障害者の団体と協力し、「生活便利用具(自助具)データベースシステム」を構築しています。

本システムは、障害者やそれを取り巻く家族、専門職の方々へ広く情報提供を可能とし、自助具等の入手及び、工作の一助となるものです。是非ご覧ください。

当協会のホームページ生活便利用具(自助具)データベースをご覧ください



# 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム



よりよい福祉用具を作るために、福祉用具をお使いの方や介護している方から福祉用具に関するご要望・アイデア(ニーズ)を収集したり、福祉用具の研究開発を行っている企業などから新しい技術や製品情報(シーズ)について情報収集することで双方の意見交換をシステム上でかわすことができる

## ニーズ側

障害者  
高齢者  
介護者  
家族  
ケアマネ  
専門相談員  
施設  
介護サービス事業者 など

要望  
アイ  
デア

福祉用  
具ニ  
ーズ情  
報  
収集・  
提供シ  
ステム



## シーズ側

メーカー  
輸入業者  
販売者  
大学・研究者  
リハビリセンター  
製造業者  
など

### 事例 片足歩行支援具



松葉杖と車いすの間を埋める、ケッパシと名付けた片足歩行補助具です。体重をサドルに預けるので疲れず、フレーク付きハンドルで安全に小回りができます。室内でも野外でも使えます。



## 認定補聴器専門店とは？



### 認定補聴器専門店



公益財団法人 テクノエイド協会

(認定プレート)

●公益財団法人テクノエイド協会は、認定補聴器専門店の**実地調査等**を行い運営基準に適合している店舗を認定しています。

●認定された店舗には協会が交付した**認定プレート**が掲示されています。

認定補聴器専門店舗数 **1,005店**(令和6年4月現在)

# 今後の活動の方向性



## 高齢者・障がい者配慮設計 今後の活動の方向性

- ・各社が商品に反映した配慮設計内容を会員に周知し、更なる配慮設計への取り組みを促す
- ・共用品推進機構、家電製品協会等の関係団体の規格検討等に協力し、JISやガイドライン他の情報収集を行い、会員会社への情報周知を行う。
- ・浴室、脱衣室でのヒートショックを防ぐ温水暖房の普及など、会員会社が連携して取り組むべき課題を検討する。

# 消費者セミナー活動



## 1. 目的

- 産業標準化推進事業(我が国の国際標準化戦略を強化するための体制構築)に基づいた**JISの消費者に対する普及啓発活動**。

・消費者のJIS開発審議への積極的で効果的な参加促進

## 2. 実施形態

- **全女連、主婦連合会、NACS(日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会)**と契約。

・全国の市町村などでセミナー会場を設定し、年15回以上講演活動を展開中。

# ワークショップの実践例 杉並区+共用品推進機構



## ①もやもや出し



## ②多様なメンバーで検討



## ③確認した好事例



## ④事例集発行



# 公益社団法人日本包装技術協会

2023年 パッケージコンテスト アクセシブルデザイン包装賞



## 【表彰】



『PERFECT VITAMIN 1日分のビタミンゼリー』

ハウス食品グループ本社(株)  
ハウスウェルネスフーズ(株)  
大日本印刷(株)  
(株)CSIジャパン



『ザバスコンパクトプロテインシェイカー350mL』

(株)明治  
凸版印刷(株)



『らくらく施工アシスト付包装』

TOTO(株)



『おまかせ野菜漬の素シェルフレディパッケージ (輸送兼陳列箱)』

オタフクソース(株)  
玉子コンテナ(株)

# 公益社団法人日本包装技術協会



【出版】包装技術  
2023年6月特集  
心地よい包装～  
多様性社会に  
向けた取り組み



特集●心地よい包装～多様性社会へ向けた取り組み

## 包装におけるアクセシブルデザイン について

公益社団法人日本包装技術協会  
包装技術研究所 室長 平井 純一  
J. Hirai

Accessible Design in Packaging  
With the aging society and rising cultural levels people with disabilities have come to be considered. Currently, many people believe that the concept of accessible design in the products and service is necessary. Packaging is indispensable in our daily life, so accessibility in design and packages is one of the top priorities. In this paper, the author introduces how Japan has played a major role in the international standardization of accessible design in packaging along with the progress of these standards in Japan and overseas.

### はじめに

包装におけるアクセシブルデザインは、日本産業規格 (JIS) の制定によって、広く包装の設計者や消費者に対し、身体機能が低下した高齢者及び障害者を意識した包装設計で配慮すべき点を示すことで、全ての人が用いる包装におけるユーザビリティ向上を意図してきた。

このアクセシブルデザインに至る全ての人々が利用できる製品やサービスに対する考え方は、政府や民間を中心とする意思や活動が促されてきた。次にアクセシブルデザインに影響を与えた製品やサービスに対する設計思想を振り返りかえてみる。

### 1. アクセシブルデザインに至る設計思想

現在、先進国を中心に高齢化が進み、文化水準の高まりとともに障害者への配慮も求められるようになってきた。これにもとない、社会的弱者と健全者が共生できる設計思想として「アクセシブルデザイン」の考え方が広まり、国際標準 (ISO) や日本産業規格 (JIS) において、様々な標準化がされるようになった。

このアクセシブルデザインという言葉が最初に登場したのは、ISO/JEC Guide 71:2001年だが、「アクセシブルデザイン」は先立つものもしくは関連するいくつかの考え方がある。

#### 1.1 ユニバーサルデザイン (Universal Design)

特別な改造や特等な設計をせずに、すべて

— 4 —

装訂部 令和5年6月号

(40)

特集●心地よい包装～多様性社会へ向けた取り組み

## アクセシブルデザイン関連規格の 現状

公益社団法人 日用品推進機構  
業務部調査研究課 シニアエキスパート 金丸 洋子  
J. Kanamaru

Current Status of Standards Related to Accessible Design  
In recent years, accessible design products have been found to be useful for many individuals, including older persons and persons with disabilities. Such products have become familiar and readily available to the general public, which have become widely distributed in Japan. Some of the accessible design products are designed in accordance with accessible design standards; and by adopting those standards, products that are typically more difficult for older persons and persons with disabilities, are made easier to use.

### はじめに

障害のある人や高齢者にとって利用しやすいよう配慮されたアクセシブルデザイン (以下、「AD」という) の製品が広く流通している。AD製品は特別な製品ではなく、どこでも入手可能である。一般の人たちにとって使い慣れている製品も多い。

これらのAD製品の中には、ADに関連する規格 (以下、「AD規格」という) に準じて設計されているものがある。障害のある人や高齢者にとって使いにくい製品は、AD規格のルールを採用することで、使いやすい製品になる。

### 1. 標準化の目的

製品やサービスについて、共通のルールを作成することを標準化という。その目的は、製品やサービスの互換性、品質、性能、安全性を確保し、利便性を向上させたりすることである。標準化によって統一された基準は規格として発行されている。日本では、日本産業規格、通称JISがそれである。身近な例を挙げると、日本国内で購入したトイレトーパーは、ほとんどの場合、家庭のトイレトーパーホルダーに接着できる。それは、トイレトーパーのサイズが「JIS P 4811 トイレトーパー」によって標準化されているからである。ほかにもさまざまな分野でJISが発行されており、JISの内容は日本産業

— 10 —

装訂部 令和5年6月号

(41)

## 紙芝居で「共生社会」を伝える



### 一緒に遊ぼう

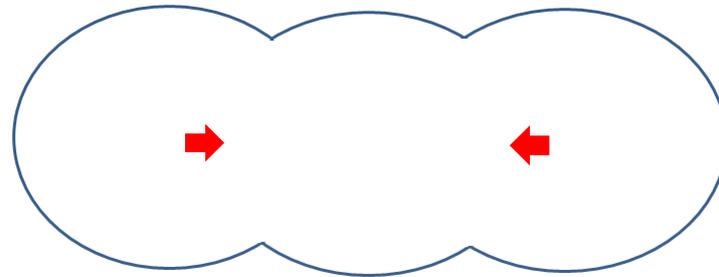
ここは森の中の小さな広場です。今日も、サッカーの試合をする子どもたちの大きな歓声が響いています。

♪ リンリコ リンリコ リンリンリン ♪

広場の端っこの方に、ポツンと一人で立っているモグラくんがいました。そのモグラくんの足元にボールが転がってきます。元気なキツネ君の声が聞こえました。



## モノの境界線は、なくすと・・・



I. 専用福祉用具

III. 共用設計製品

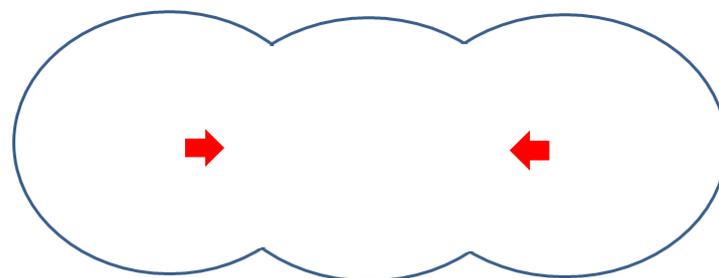
V. 一般製品

II. 共用福祉用具

IV. バリア解消製品

65

## 社会の境界線を、なくすと・・・



専用福祉社会

共生社会

一般社会



社会

66

ゴールは

社会 → 共生社会 → 社会

デザイン → アクセシブルデザイン → デザイン

67

ADC

ご清聴ありがとうございました。

アクセシブルデザイン推進協議会

問い合わせ先

<https://ad-council-org.secure-web.jp/form.html>

ウェブサイト

<http://www.ad-council.org/>

68